



室蘭工業大学

学術資源アーカイブ

Muroran Institute of Technology Academic Resources Archive



室蘭工業大学地域共同研究開発センターニュースレター No.29

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 室蘭工業大学地域共同研究開発センター 公開日: 2017-08-01 キーワード: 601 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10258/00009252

第2回、第3回CRDセミナー

時日：10月9日(水) 9:30~16:30
場所：室蘭工業大学 本部大会議室

第2回CRDセミナー 9:30~

総合テーマ：高純度・清浄鋼の製造技術と
原料スクラップの品質問題

テーマI：高純度・清浄鋼の製造技術と品質
客員教授 竹之内 朋夫
(株)日本製鋼所経営企画室副室長

テーマII：鉄スクラップの脱銅 -その重要
性、原理および最近の研究動向-
材料物性工学科教授 片山 博

第3回CRDセミナー 13:30~

総合テーマ：超伝導応用 (エレクトロニクス・センサ) の
将来

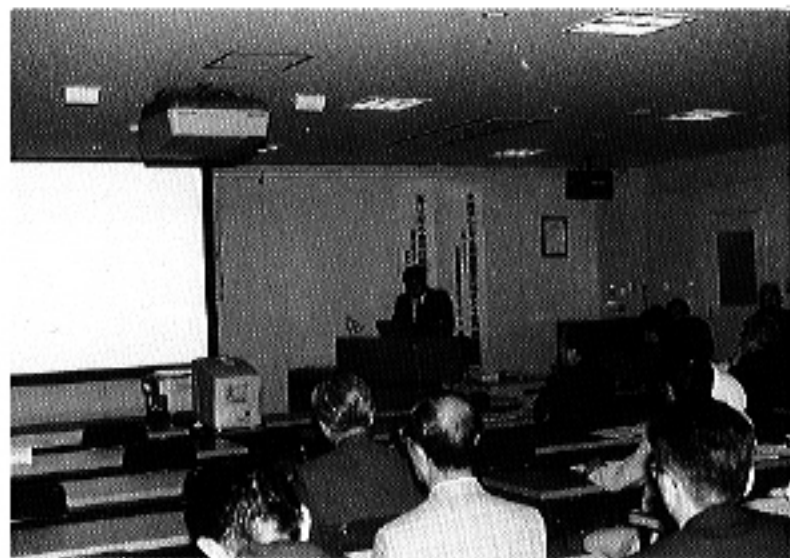
テーマI：SQUID (超伝導量子干渉デバ
イス) を用いた非破壊計測
客員教授 茅根 一夫
セイコー電子工業(株)新事業開発部課長

テーマII：超伝導デバイスのアナログ応用
電気電子工学科助教授 中根 英章

企業技術者、本学教職員の皆様のご来聴をお願いいたします。

平成8年度第1回技術研究開発講演会終える

8月1日(木)午後3時より函館にて行われた。講演は(株)エスイーシー取締役情報通信事業本部長 塚本照男氏による「北海道における情報産業の現状と今後の課題」と室蘭工業大学建設システム工学科教授 近藤徹郎氏による「海洋工学の最近の話題」の講演が行われ、参加者は100名で活発な質問や討議がなされて、盛況のうちに終了した。



【運営委員会】 第4回議事録 (7月12日)

- 議題1. H8年度民間等との共同研究について
区分Bの継続1件、新規1件の申請が承認された。
- 議題2. H8年度高度技術研修規則並びに実施要項の制定について平成8年8月21~23日に実施される。
- 議題3. H8年度受託研究について
継続1件の申請が承認された。
- 議題4. H8年度講演・講習会等の後援について
8月30日の「第3回精密工学会地域講演・講習会」の後援をすることを異議なく承認された。

報告事項

1. 大学研究紹介について
9月20日(金)情報工学科、応用化学科を紹介する。
2. 事業推進検討会について
3. 中小企業見学会について
4. 大学・企業技術交流会について
5. CRDセミナーについて

事業推進検討会開かれる

平成8年7月19日（金）15時より学長の挨拶の後、奥山秀樹氏を会長に選出し「製造業への技術支援に対するセンターの役割」「4大学のセンターの連携と本センターの今後の役割」等について活発な意見が述べられた。

検討会の役員は以下の通り

会長	北海道開発コンサルタント(株)専務取締役	奥山	秀樹
副会長	室蘭工業大学材料物性工学科教授	片山	博
委員	室蘭工業大学CRDセンター研究協力会会長	海老原	達郎
委員	北海道電力(株)常務取締役	梶山	義夫
委員	北海道立工業試験場場長	酒井	昌宏
委員	苫小牧工業高等専門学校校長	佐久間	哲郎
委員	北海道通商産業局商工部商工部長	下村	英紀
委員	(株)室蘭民報社取締役編集制作局長	新保	紘
委員	室蘭市経済労働部商工振興室長	高本	紘一
委員	(株)エスイーシー取締役情報通信事業本部長	塚本	照男
委員	(社)寒地港湾技術研究センター専務理事	得永	道彦
委員	(社)室蘭建設業協会会長	萩	清
委員	東京理科大学基礎工学部・教養部部長	久田	光彦
委員	(株)室蘭製鋼所室蘭研究所所長	福田	隆
委員	室蘭工業大学機械システム工学科教授	花岡	裕



地元中小企業視察見学会開かれる

7月22日（金）10時より室蘭商工会議所の要請により(株)キメラ、(株)三好製作所室蘭工場、大昌エンジニアリング(株)、(株)永澤機械の4社を、室蘭工業大学の教職員が視察見学をした。参加教職員は約30名であった。



企業合同見学会を函館にて開かれる

8月1日（木）12時より本センター研究協力会の主催、本センター共催により初めて函館地区の見学会を行った。会場は(財)テクノポリス函館技術振興協会工業技術センター、(株)エスイーシーであり、活発な質疑応答がなされた。参加者は20名であった。



平成8年度第1回CRDセンター高度技術研修

平成8年度第1回地域共同研究開発センター高度技術研修が8月21日(水)から8月23日(金)の3日間定員10名のところ13名の参加者があり、盛況のうちに終了した。講師陣は情報工学科のスタッフを中心に構成され、インターネット利用の基礎、インターネット接続&デモ、WWW利用技術(基礎・応用・実習)、その他講演および討議形式で行なわれた。

